（７）栄養教諭部会

会　長　谷山　なつこ（中村南小）
副会長　岡本　恵子（東山小）
事務局　大原　景子（具同小）

１．研究主題　　「学校給食を活用した食育の推進を目指して」

２．研究の実績

実施年月日	研究のあらまし	会場
5 月 6 日(金)	・組織、計画	中村中
5 月 16 日(月)	・給食主任会について	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
6 月 9 日(木)	・7 月の献立交換 ・給食主任会について	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
6 月 30 日(木)	・衛生チェック ・食生活アンケート集計	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ にしとさ
7 月 29 日（金）	・食生活アンケート分析 ・食事摂取基準策定　　（市教研夏季研修会）	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
8 月 26 日（金）	・10 月の献立交換	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
9 月 26 日（月）	・朝ごはんコンテスト審査 ・11 月の献立交換	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
10 月 27 日（木）	・12 月の献立交換 ・給食週間中の取り組みについて	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
12 月 1 日（木）	・1 月の献立交換	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
12 月 22 日（木）	・2 月の献立交換 ・レシピ集、デザートバイキングについて	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
2 月 2 日（木）予定	・3 月の献立交換 ・レシピ集製本	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
2 月 20 日（月）予定	・給食主任会打合せ	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ
3 月 2 日（木）予定	・4 月の献立交換 ・反省、計画	ｽｸｰﾙﾐｰﾙ なかむらみなみ

３．主な取り組み内容

（１）食生活調査

対　象　：小学校５年生　２６１名　、中学校２年生　２３４名

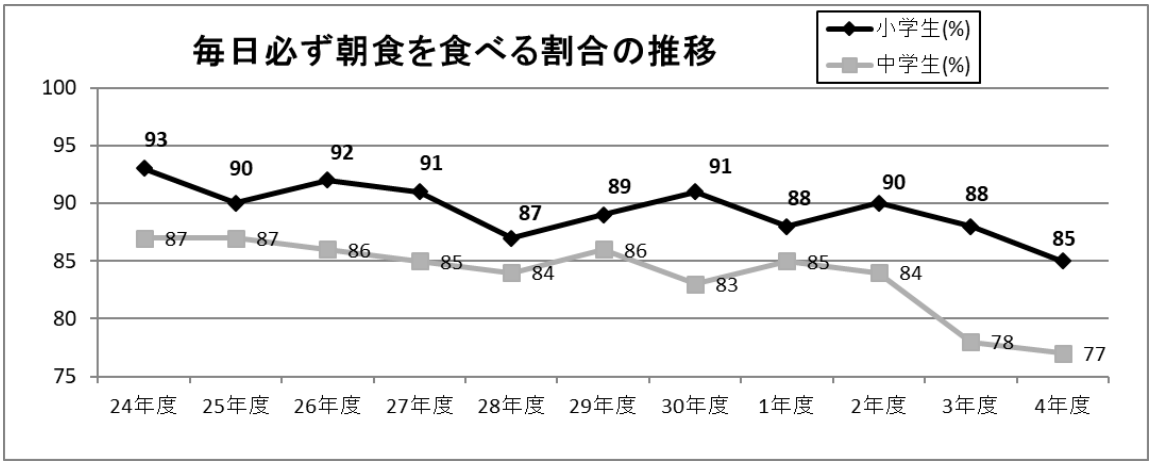
期　間　：６月７日～９日のうち１日

内　容　：朝食の摂取状況、朝食の食事内容等

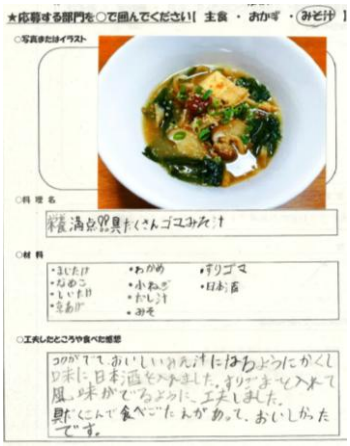
情報発信：「食育だより」（対象児童生徒、教職員）
「給食だより」（市内小中全員）

結　果　：「毎日朝食を食べているか」の問いに関しては、小学生では昨年度より３％減少し、８５％、中学生では１ポイント減少して７８％と、調査開始以来最も低い値となった。

※毎朝必ず朝食を食べる児童生徒の割合（推移）



（２）朝ごはんコンテスト



目　的：食生活調査から見える現状（朝食摂取率目標値未満、単品摂取率の増加）や、朝ごはんの大切さ等から、朝の忙しい時間でも栄養を効率的にとることができるような朝ごはんのメニュー作りを題材にコンテストを実施し、自らの力で朝ごはんを準備する力を育ませ、朝食でのバランスのとれた食事内容について関心を高める。

対　象：四万十市内の小学 5 年生、6 年生および中学生

内　容：自らの力で、朝ごはんにぴったりな主食、おかず、みそ汁を作る。

応募数：小学生 356 点（12 校）、中学生 122 点（4 校）
合計 478 点

結　果：優れた作品を選出し、給食の献立として 11 月以降に取り入れる。
入賞者には賞状を授与するとともに、給食だより及び放送資料で紹介する。

４．成果と課題

○「朝ごはんコンテスト」では過去最高の 478 点の応募があった。内容も、みそ玉や家庭科の授業で得た知識を取り入れたものなど、栄養教諭が関わった食育授業を生かした作品が見られ、実生活に繋げられる指導の重要性を改めて感じた。

○食生活調査を継続して実施でき、児童生徒の傾向や課題点などを考察することが出来た。

●食生活調査の結果では、小学生、中学生ともに四万十市教育振興基本計画の目標値を達成できず、朝食摂取率が調査開始以来過去最低の値となった。朝ごはんコンテストの実施や給食献立、給食放送の内容を工夫し継続して啓発は行ってきているが、食生活の改善には至ってないことから、今後は給食指導や食育授業の内容、指導方法について研究を深めていきたい。

●県教委等が主催の研修を受ける中で、市内で統一したアレルギー対応（緊急時のマニュアル）について見直す必要があると感じた。来年度の栄養教諭部会で検討していきたい。